



RBC BlueBay
Asset Management

債券保有者:変化を促し成果を形成することに貢献



ハリソン・ヒル
ポートフォリオ・マネジャー
投資適格債チーム

2024年8月

公募市場の投資家によるエンゲージメント活動が、より良いESGの実践と成果にどのように役立つかを見ていきたいと思えます

インパクト・アラインド債券戦略では、2つの方法で、主要な持続可能性の課題解決に貢献することを目指しています。一つ目が、世界で最も大きな環境問題や社会問題の解決に向けて自ら解決策を提示している発行体への投資、二つ目が、投資家としてのスチュワードシップ活動を通じてのもので、これは他の投資家と共に政策当局や規制当局といったステイクホルダーと協働して行います。われわれは貸し手であり、投資先企業の直接的な株式保有者ではありませんが、債券資産の有限性（満期が固定されているため）は、興味深く、しばしば過小評価されている力を発揮します。満期日のない株式とは異なり、債券を発行する企業は、バランスシートの比率を維持し、満期を迎える債券を借り換えるために、市場へのアクセスを繰り返し必要とする傾向が見られます。新しい資本への継続的なアクセスの必要性、そして理想的にはできるだけコストを抑えたいという点を踏まえると、債券投資家は必ずしも株式投資家ほど不利にならないかもしれないことを意味するかもしれません。

エンゲージメントは、私たちの戦略の投資モニタリング・プロセスの一部です。私たちの取り組みは、より深い知見を得ることに主眼を置いており、インパクトレポートを通じて企業がどのような影響を与えようとしているかをよりよく理解することから、市場機会をとらえるために事業をどのように位置づけているかについての洞察を得ることまで多岐にわたっています。場合によっては、企業がサプライチェーンや廃棄物処理に対して責任あるアプローチを取るようになることや、企業が将来の債務構成をどのようにしていくべきかに関する助言など、変革を促すよう働きかけることもあります。私たちの助言に対して、変化が見られずエンゲージメントが実を結ばなかった時には、将来の新規債務発行に対する支援は行わないこともあり、発行体の債務コストに悪影響を及ぼす可能性をもたらすことができます。これらを組み合わせることで、発行体には期待していることを理解してもらいながら、情報に基づいた投資判断を行うことが可能となり、さらに投資家にとって有用な報告をすることが出来ます。

より深い洞察を得るためのエンゲージメントの例として、陸上および洋上風力発電機の欧州の大手製造・サービス企業と持続可能な事業戦略に関して継続的な交流を行ってきました。これには、経営戦略を再考し、再生可能エネルギー分野への挑戦を検討しながら、同業他社のビジネスモデルと比較した場合の盤石性を評価するといった、経営幹部との継続的な協議が含まれます。同社による、洋上風力発電における熱意を再確認し、強力なプロジェクト・パイプラインのニュースを共有することが出来ました。再生可能エネルギー産業が直面する逆風はあるものの、事業のファンダメンタルズを再確認することができたことから、エクスポージャーを維持しました。

ESGラベル付き債券市場の出現は、債券投資家が発行体に対して優先順位や選好を示すことができるもう一つの機会であり、私たちがどの債券をサポートする意思があるか、発行体が優先的に取り組むべき具体的なESG問題はどのようなものであると私たちが見ているかを差別化することができます。発行が不成功に終わることを避けるために、発行体は、ESG債券を発行する前に、私たちとエンゲージメントを行うことができます。

課題に取り組むだけでなく、インパクト・アラインド戦略に関するエンゲージメントは、他の主要な利害関係者（政治家、規制当局、市民社会、顧客など）にも向けられています。というのも、私たちは、持続可能性の課題に取り組むためには、より広範な金融・経済システムにおいてエンゲージメントが必要となる体系的な変革が必要であると認識しているからです。私たちは、このような活動を二者間で行う場合もあれば、エンゲージメント・イニシアティブの一員として協働することもあり、これにより発行体や主要な利害関係者に影響を及ぼす範囲を広げることができます。私たちのエンゲージメントには、森林破壊に関する投資家の政策対話(IPDD)（森林減少を食い止めるために政府と協働する世界的な共同投資家イニシアティブ。2020年7月に結成）の継続的な共同議長を務めるとともに、保護債の発行に向けて投資バリューチェーンの主要な関係者と協働することが含まれます。

ディスクレーム

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1029号

一般社団法人 日本投資顧問業協会会員、一般社団法人 投資信託協会会員、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会会員

■手数料等

当社の提供する投資一任業に関してご負担いただく主な手数料や費用等は以下ようになります。手数料・費用等はお客様の特性、委託された運用金額や運用戦略、運用状況、あるいは当社に係る業務負担等により、下記料率を上回る、又は下回る場合があります。最終的な料率・計算方法等は、お客様との個別協議により別途定めることとなります。

(年率、税抜き)	債券戦略				株式戦略
	ヘッジマーク戦略	トータル・リターン戦略	絶対リターン戦略	プライベート戦略	
運用管理報酬（上限）	0.70%	1.30%	1.30%	1.55%	1.00%
成功報酬（上限）	-	20.00%	20.00%	20.00%	-

なお、当社との投資一任契約は、原則、運用戦略に応じた外国籍投資信託を投資対象とします。上記手数料には、お客様から直接当社にお支払いいただく投資顧問報酬、外国籍投資信託に対して投資した資産から控除される運用報酬が含まれます。

この他、管理報酬その他信託事務に関する費用等が投資先外国籍投資信託において発生しますが、お客様に委託された運用金額や運用戦略ごとに、あるいは運用状況等により変動いたしますので、その料率ならびに上限を表示することができません。手数料や費用等について詳しくは、弊社担当者にお問い合わせをいただくか、契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

■投資一任契約に関するリスク

投資一任契約に基づく契約資産の運用は、原則、戦略に応じた外国籍投資信託を通じて、実質的に海外の公社債、株式等の有価証券や通貨などの価格変動性のある資産に投資を行います。これら有価証券等には主に以下のリスクがあり、株式相場、金利、為替等の変動による価格変動、及び有価証券の発行会社の財務状況の悪化等による価格の下落により、外国籍投資信託等の基準価額が下落し、損失を被ることがあります。従って契約資産は保証されるものではなく、お客様の投資された元本を割り込むことがあります。また、デリバティブ取引等が用いられる場合においては、上記の価格変動等により、元本超過損が生じる可能性があります。運用による損益は全てお客様に帰属いたします。

価格変動リスク：有価証券の価格変動に伴って損失が発生するリスク

為替変動リスク：外国為替相場の変動に伴って損失が発生するリスク

信用リスク：発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により損失が発生するリスク

流動性リスク：市場の混乱等により取引ができず、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失が発生するリスク

カントリーリスク：投資対象国／地域の政治・経済、投資規制、通貨規制等の変化により損失が発生するリスク

なお、契約資産が持つリスクは上記に限定されるものではありませんのでご注意ください。リスクに関する詳細につきましては契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、別途記載のない限り資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社の書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途契約締結前交付書面等をお渡ししますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上



RBC BlueBay
Asset Management